



自由記述欄から その2

引き続き自由記述欄からその2です。

- 元気が良くていいですね。
- 子どもたちがのびのびとしている様子を感じました。
- 明るい子が多いです。もっと地域で増やしていきたいです。
- 子どもたちの楽しい学習がほしい。
- 自分からあいさつしてくれる子どもが多く感心しました。
- 以前ほどこどもがあいさつしなくなった。
- 一人として子どもからの挨拶がないことに驚きました。

☆こどもたちにとって学校が明るく楽しいということは大切なことです。みんなが明るく楽しく過ごしていくことができるよう、こどもたち一人ひとりに目を向けていきたいと思います。挨拶についてもこどもたちの間で幅があるのだと思います。運営委員会やふれあい委員会の挨拶運動や、児童集会での6年生の発表、各学級での指導や練習を通して状況は良くなりつつあると感じています。わたしたちの羽合小学校のこどもたちのために、地域や家庭でも挨拶について「やって見せてやらせて、できたらほめる」取り組みを是非お願いします。

- 来る度に教室、プールが分からずウロウロしてしまいます。
- 学年によって授業の集中具合には違いがあ

りましたが全体的には集中してできていました。プールの扉が閉まっていて見る事ができませんでした。

☆時間割と校舎案内図を配布したり、矢印を付けたりにしているのですが分かりにくくて申し訳ありません。適切に誘導できるよう案内や鍵の件など工夫していきたいと思います。また、職員や受付のボランティアの方にも遠慮なくお尋ねいただけたらと思います。

●ある先生が「～しなさい！」と指示を出されていて、命令口調のように聞こえ気になりました。すべての先生ではないですが、言い方に威圧感があり、もっと柔らかな言い方でもよいのではと思いました。

●先生にビクビクしながら授業を受けている印象を受けました。少し厳しすぎるのでは？

●子どもにもっと厳しくしてもよい。

☆指導の内容や場面によって、指導の強さは変わるものですが、いずれにしてもこどもたちの心に伝わらなければ指導する目的は達成できません。指導の強弱や伝え方については職員にも話しているところですが、様々な場面でお気づきの点がありましたら遠慮なくお知らせいただけたらと思います。こどもたちにできるようになってほしい、わかってほしいと願う気持ちはみんな同じだと思います。そのアプローチについて、こどもたちにとってより良い方法を行いたいと思います。

【持ち物に記名のお願い】6月になって落とし物が増えてきました。草履の着用に伴う靴下や水泳授業の着替えに伴う衣服が増加しています。記名をお願いします。 羽合小学校 寺谷英則